

印刷業界の未来を、
ともに創る**2日間!!**

出 展 案 内 書

印刷を**変**える。 未来が動く。

— AI・DX・技術・人がつながり、
新しい**需要**を創り出す —

JP2027 印刷DX展

JP2027 PRINTING DX EXHIBITION

会期 **2027.5.20 THU ▶ 21 FRI**
●20日 休(10:00~17:00) ●21日 金(9:30~16:00)

会場 **インテックス大阪 5号館**
大阪市住之江区南港北1丁目5-102

【主催】JP産業展協会

【後援】近畿経済産業局/大阪府/大阪市/大阪商工会議所/大阪府中小企業団体中央会/全日本印刷工業組合連合会
一般社団法人日本グラフィックサービス工業会/日本製紙連合会/日本洋紙板紙卸商業組合(以上予定)

【協力】公益社団法人日本印刷技術協会/大阪印刷関連団体協議会/大阪府ものづくり振興協会/販促アイデア協議会(以上予定)

つ な が る 。 協 創 す る 。 需 要 が 生 ま れ る 。

リアルな出会いがアイデアを生み、ビジネスを動かす!

最新の印刷・加工・
DXソリューションが集結

セミナー・特別企画で
ヒントが見つかる

価値共創ひろばを
拡大!

★生成AI事例発表コーナー

印刷会社による生成AIの
活用事例を紹介!

業務効率化・提案力向上・新サービス創出の
ヒントがここに。



印刷会社の
リアルな活用事例



明日から使える
具体的なノウハウ



AI活用の最新トレンドを
キャッチ

詳しくはこちら▶
JP展ホームページ



お問い合わせ先

JP産業展協会事務局(印刷タイムス株式会社内)

〒530-0047 大阪市北区西天満3-5-2 クリエ西天満ビル402
TEL.06-6948-5081・E-mail:support@jp-ten.jp

製品・技術・サービスを 次のビジネスへつなぐ展示会

印刷を起点に、DX・AI・自動化・環境対応・新規事業まで。

JP展は、出展社と来場者が対話し、まだ言葉になっていない課題や価値を発見する“ビジネス共創の場”です。

約12,000人 来場者	90社 出展社	15本 セミナー
-----------------	------------	-------------

※JP2026・印刷DX展の開催実績

来場者の課題が、貴社のビジネスチャンスになる

JP・印刷DX展の来場者は、新しい技術を見るだけでなく、自社の課題を解決し、次の仕事につながる具体的な提案を求めています。

	アンケート結果	求められていること	出展メリット
関心・期待	印刷DX 50.5% AI活用 41.6%	DX・AIの活用方法と導入効果	業務改善につながる提案として訴求
経営課題	人手不足 31.5% 営業力強化 26.9%	省人化・生産性向上・営業支援	切実な課題に沿った商談を創出
市場課題	新規顧客開拓 27.9% 価格競争 25.6%	新しい商品・用途・市場を生む提案	新規顧客・新市場の開拓へ
来場者層	経営者・役員＋管理職 約4割	経営・導入判断に役立つ情報	意思決定層と直接対話

※JP2026・印刷DX展 来場者アンケートより

■ 出展によって得られる6つの価値

01 経営者・意思決定層との接点 商談や継続的な関係づくりへ	02 実機・実演・サンプルによる訴求 体験を通じて強みを伝える
03 来場者ニーズと市場課題の把握 対話から改善・開発のヒントを得る	04 既存顧客との関係強化と新規開拓 再会と新しい接点を同時に作る
05 異業種・関連企業との連携 共同提案や新たな組み合わせを探る	06 新製品・新サービスの価値発信 市場の反応を確かめ、次の展開へ

JP2027・印刷DX展 注目企画

印刷発注企業まで来場対象を拡大 「生成AIと印刷業界」特設コーナー 価値共創ひろばを拡充

新しい市場と出会い、次のビジネスを拓くために。

「JP2027・印刷DX展」を、貴社の新たな挑戦と価値発信の舞台として、ぜひご活用ください。

印刷を変える。未来が動く ～AI・DX・技術・人がつながり、新しい需要を創り出す～

平素より当協会の活動に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2026年に開催致しました「JP2026・印刷DX展」は、第50回という大きな節目を迎え、多くの出展企業様、ご来場の皆様、関係団体のご支援により、盛況のうちに終了することができました。心より御礼申し上げます。

記念開催となったJP2026では、「創進」をテーマに掲げ、印刷業界の未来を見据えた新たな取り組みとして「価値共創ひろば」を開設致しました。印刷会社、メーカー、関連企業が立場を超えて交流し、新たなビジネスや需要創出の可能性について語り合う場として、多くの皆様から高い評価をいただくことができました。「JP2027・印刷DX展」では、その成果を受け継ぎながら、展示会を次の段階へと進めて参ります。

今回の開催テーマは、「印刷を変える。未来が動く～AI・DX・技術・人がつながり、新しい需要を創り出す～」です。

印刷産業を取り巻く環境は、大きな転換期を迎えています。人口減少やデジタル化の進展、情報伝達手段の多様化に加え、生成AIの急速な普及は、私たちの仕事やビジネスモデルにも大きな変化をもたらしています。しかし、こうした変化は脅威であるだけでなく、印刷の役割と可能性を捉え直す好機でもあります。

紙だからこそ伝わる品質や信頼性、手に取る体験、ブランド価値を高める表現力など、リアルメディアとしての印刷の価値は、改めて見直されつつあります。

これから求められることは、「紙かデジタルか」を選ぶことではありません。紙とデジタル、AIとDX、培ってきた技術、人の知恵や創造力をつなぎ、それぞれの強みを掛け合わせることです。そのつながりから、印刷の新しい価値と需要を具体的に生み出していくことが重要となります。

「JP2027・印刷DX展」では、前回ご好評をいただきました「価値共創ひろば」をさらに拡充するとともに、「生成AIと印刷業界」をテーマとした特設コーナーを新設する予定です。生成AIやDXの最新動向、印刷会社による実践事例、メーカー各社の技術や製品を結び付け、業務変革と需要創造につながる具体的なヒントを発信して参ります。

JP展は、印刷会社やメーカー、関連企業に留まらず、印刷を発注される企業、広告・デザイン・販促・マーケティングに携わる皆様にも広くご来場いただき、新たな出会いと連携からビジネスが動き出す場を目指します。展示会を「製品を展示する場」から、「課題を解決し、新たな需要を創り出す場」へと進化させることが、私たちの目標です。単に製品や技術を紹介するだけでなく、それらを人の発想や現場の課題と結び付け、「どのような価値を提供できるか」を提案することです。

「JP2027・印刷DX展」が、出展企業の皆様の技術、製品、サービスを新しい市場や顧客との接点につなぎ、未来のビジネスを実際に動かす機会となることを願っております。

ぜひ「JP2027・印刷DX展」を、新たな挑戦の舞台としてご活用ください。皆様のご出展が新たな出会いと連携を生み、印刷を変え、新しい需要を創り出す力となることを心より願っております。

皆様のご出展を心よりお待ちしております。

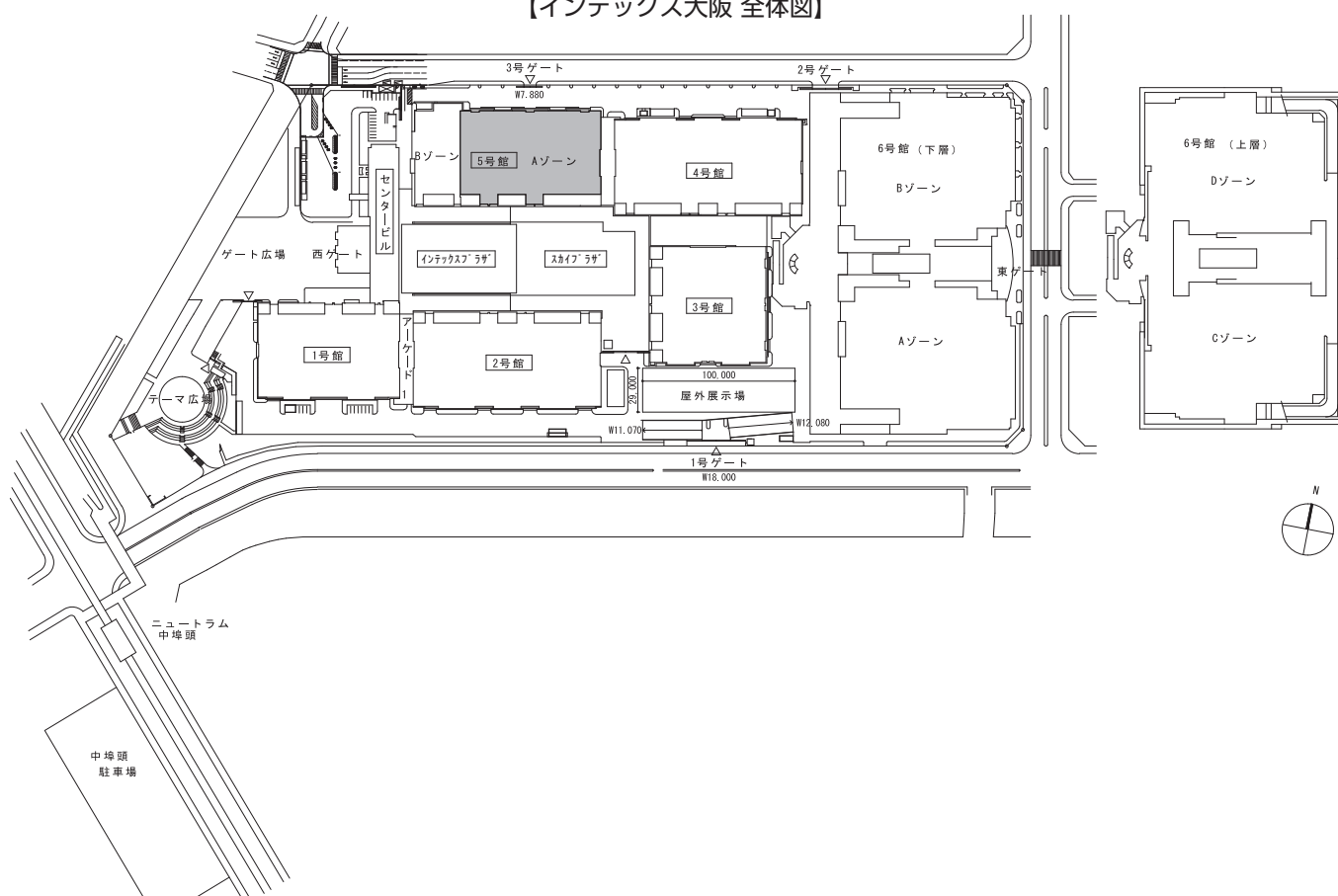


JP産業展協会
会長 作道 孝行

開催概要

- 名称 「JP2027・印刷DX展」
- 開催テーマ 印刷を変える。未来が動く
～AI・DX・技術・人がつながり、新しい需要を創り出す～
- 会期 2027年5月20日（木）・21日（金）
5月20日（木）午前10時～午後5時
5月21日（金）午前9時30分～午後4時
- 会場 インテックス大阪5号館（大阪市住之江区南港北1-5-102）
- 主催 JP産業展協会
- 後援 近畿経済産業局/大阪府/大阪市/大阪商工会議所/大阪府中小企業団体中央会/全日本印刷工業組合連合会/一般社団法人日本グラフィックサービス工業会/日本製紙連合会/日本洋紙板紙卸商業組合（以上予定）
- 協力 公益社団法人日本印刷技術協会/大阪印刷関連団体協議会/大阪府ものづくり振興協会/販促アイデア協議会（以上予定）

【インテックス大阪 全体図】



「JP2027・印刷DX展」会場を構成する展示分類

■ 印刷関連機材展示
プリプレス関連機器、オフセット印刷機、デジタル印刷機、製本加工関連機器、シール・ラベル印刷機、パッケージ印刷機、特殊印刷機、品質検査装置、デジタル加飾機、レーザー加工機、大判インクジェットプリンタ、3Dプリンタ、データ処理ソフトウェア、コンバーティング素材、各種印刷関連材料（用紙、インキ・塗料、化学薬品、包装資材、添加剤、接着剤など）、印刷周辺機器、各種サンプル製品の展示ほか
■ DX関連システム展示
印刷システム、ソフトウェア、後加工自動化機器、工場DXソリューション、データ収集可視化ソフト、生産管理システム、設備稼働監視システムほか
■ 生産工程の自動化提案
産業用ロボット、生産管理システム、自動搬送ロボット、物流自動化システム、省力化・効率化を実現する協働ロボット、AIソフトウェア、自動ハンドリングシステム、RFID活用ソリューション、FA（ファクトリーオートメーション）ツール、画像認識ソフトほか
■ 業務改善ソフトウェア展示
プリプレスワークフロー、オンラインデータ入稿、オンライン校正、自動データ処理システム（バッチ化、面付、カラーマネジメント、出力）、MIS（経営情報システム）、生産管理システム、デジタルマーケティングツール、AI技術を使ったOCRサービス、RPAツール、業務改善プラットフォーム、リスト整理ソフト、販売促進プラットフォーム、現場改善プラットフォームほか
■ 環境対策・SDGs・脱炭素関連製品展示
環境対応印刷システム、紙製容器・包材、カーボンオフセット対応製品、廃プラ処理・再資源化製品、プラスチック新素材、脱プラスチック製品、各種パルプモールド容器、エコバンド・紐・テープ・ラベルなどのエコ製品、環境衛生機材・検査システム、包装関連機械、廃液処理技術および装置、安全保護用品、作業安全保護用具、環境管理ソフト、廃棄物管理ソフト、CO ₂ 排出量・排出削減量算定システム、工場用換気空調システム、LEDを活用した工場照明、紫外線殺菌システム、リサイクル製品、廃棄物処理事業者ほか
■ 生成AI関連展示
文章・画像・動画生成AI、企画・デザイン支援、営業・提案支援、業務効率化、AIエージェント、生成AI連携システム、導入支援、印刷業界における生成AI活用事例ほか
■ 「価値共創ひろば」（コラボレーション展）
クリアファイル、製袋、カード、商品券、うちわ、荷札、オリジナルカレンダー、シール・ラベル、ダイレクトメール、オリジナル封筒、オリジナルTシャツ、手帳、空撮事業、デザイン集、デザイン制作サービス、サインディスプレイ、AR（拡張現実）・VR（仮想現実）・MR（複合現実）、WEB受注システム、ホームページ作成サービス、電子ブック・オリジナルアプリほか

出展小間料金

■通常小間

1小間 236,500円(税込) 間口3.0m×奥行3.0m×壁高2.7m

出展小間料金には基礎装飾・電気工事費用は含まれません。

※通常小間については、11月30日(月)までに申込書をご提出頂ければ、1小間につき11,000円(税込)を早期割引と致します。

■「価値共創ひろば」

1小間 176,000円(税込) 間口2.0m×奥行2.0m×壁高2.1m

出展小間料金には基礎装飾として、「バックパネル(紅白幕付)・テーブル1台・パイプ椅子1脚・基礎社名版」が含まれます。袖パネル(ブース隣接部分)は含まれません。電気工事費と電気使用料金は別途必要となります。

※「価値共創ひろば」は、印刷会社による新しい印刷ビジネス・製品・サービスを紹介する特設エリアです(販売も可能)。

対象は、アイデア商品、ノベルティ、推し活グッズ、オリジナルグッズ、パッケージ・商品開発、地域・観光関連商品、印刷技術を活用した新商品、印刷を起点とした新規事業、その他印刷会社が生み出す新しいビジネスなどとなります。

印刷機械、印刷資材、ソフトウェアなどを主とするメーカー・販売会社の出展については、通常出展小間をご利用下さい。

企画趣旨に沿った商品・サービス・ビジネスを紹介する特別企画です。出展にあたっては、出展内容を事務局で確認させていただきます。

出展申込先

JP産業展協会事務局(印刷タイムス株式会社内)

〒530-0047 大阪市北区西天満3-5-2 クリエ西天満ビル402 TEL: 06 (6948) 5081 FAX: 06 (6948) 5095

出展申込締切日

2026年12月25日(金) 予定小間に達し次第締切りとさせていただきます。

出展契約の成立・契約成立後の変更または取り消しについて

主催者が「出展申込書」を受理した日をもって、出展契約の成立とさせていただきます。契約成立後の出展内容の変更および出展の取り消しについては、事前に事務局へお申し出下さい。出展を取り消す場合は、下記のキャンセル料を申し受けます。出展契約成立～開催60日前まで出展小間料金の50%、開催60日前～開催日当日出展小間料金の全額。

搬入出期間

■搬入日 2027年5月17日(月) 午後1時～午後5時

2027年5月18日(火)・19日(水) 午前9時～午後5時

■搬出日 2027年5月21日(金) 午後4時～午後8時

※2026年8月現在の予定であり、出展内容によって変更となる場合があります。出展社説明会で詳細は発表します。

小間の割り当て

主催者は出展社の業種、出品物の種別・形状・会場の構成などを勘案のうえ、小間の割り当てを行い出展社に連絡致します。割り当てられた小間の一部または全部を主催者の承認なしに譲渡または貸与することはできません。主催者は入場者整理の都合上、または展示効果向上のために小間図面を変更し、それに関して小間を再配置する権利を有します。その際、出展申込者は、小間位置の変更に伴う損害について、主催者は賠償責任を負わないものとします。

実演

はなはだしい音響、発煙・臭気を伴うもの、または主催者が危険と判断するものは実演の中止をお願いすることがあります。説明員によるマイクでの説明は、他の出展社の迷惑とならないよう音響を調整頂くか、専用イヤホンを使用下さい。

管理保全

主催者は、出品物の管理・保全について、警備員を配置するなどの事故防止に最善の注意を払いますが、あらゆる原因から生ずる損失または損害についてその責任を負わないものとします。

展示会の中止・延期について

主催者は、展示会が開催される土地建物が入場に不適當となった場合をはじめ、出展社および来場者の安全性が確保できないと判断した時、会期の変更、もしくは開催を中止することがあります。主催者は、これによって生ずる損害、費用の増加、その他事態については責任を負わないものとします。

法令・規約の遵守

出展申込者は、日本国内の各種法令を順守するとともに、主催者が定める一連の規約（出展申込書、出展マニュアルなど）を本契約の一部とし、これを遵守することに同意するものとします。万が一、法令・規約に違反した場合、主催者は、展示会来場者の安全性を確保する観点から、理由の如何に関わらず出展を拒否もしくは取り消すことがあります。この際生ずる損害などに対し、主催者は一切の責任を負わないものとします。

出展社説明会

出展社説明会は、2027年3月下旬に大阪市内で開催する予定です。なお、会場・日時については追って各出展社に直接連絡致します。

小間装飾

出展小間料とは別に施工費（社名板・バックパネル分）を頂きます。基礎装飾はシステムパネルで制作しますが、サイズ仕様および色については出展社説明会でお知らせします。出展社が独自で特別装飾をする場合は、事務局に届け出て適宜施工して下さい。ただし、すべての使用材料は必ず不燃物のものを使用し、他の出展社の迷惑や混雑防止に十分留意して下さい。出展小間内に天井を設置する場合は、必ず煙探知機を設置し、消防署の許可を受けることが必要となります。また、危険物（出品商品を含む）に関しても、事前に申請する必要があります。

電気設備および幹線工事費

電気工事申込書は、指定の期日までに必ず提出して下さい。期限後の申込みについては特別料金を申し受けることがあります。供給電気方式は①交流単相100V60ヘルツ②交流単相200V60ヘルツ③交流三相200V60ヘルツとなります。

上記以外の特殊電圧は供給できませんのでご注意下さい。特別電源を使用する場合は電圧調整器および周波数変換機を必ずご持参下さい。蛍光灯、高圧水銀灯は定格定量の50%増として計算します。電気の幹線工事費（電気使用料金含む）は会期中を通じて、単相・三相とも1kw＝18,150円（税込）で計算します。水道およびダクト給水・排水工事を必要とする出展社は主催者が指定する業者に申請して下さい。工事はあらかじめ見積もらせたうえで着手します。なお、工事に必要な経費は全額出展社の負担となります。会期中の水道使用量は別途料金を請求します。申込み手続きを必要とする出展社は必ず提出をして下さい（申込用紙の配布と内容説明については出展社説明会にて行います）。

お問い合わせ先

JP産業展協会事務局(印刷タイムス株式会社内)

〒530-0047 大阪市北区西天満3-5-2 クリエ西天満ビル402

TEL.06-6948-5081・FAX.06-6948-5095・E-mail: support@jp-ten.jp